

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「インスタグラム」「ライン」に掲載しています。



とれたて いとれぼ

\\ 次は、九州大会へ //

上原琉乃さん大会優勝報告

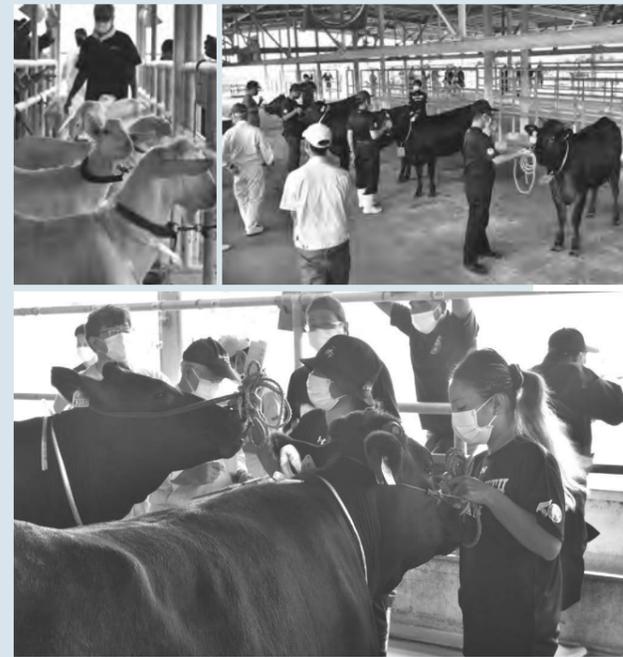
女子サッカーチーム casa okinawa ale(カーサ・オキナワ・アレ)に所属する糸満中学校2年生の上原琉乃さんが監督、コーチ、保護者らと糸満市役所を訪れ、沖縄県女子サッカー夏季選手権大会やU-15女子サッカーリーグ2022九州の優勝報告および九州大会の派遣報告をしました。上原さんは「今回の大会の内容はあまり良いものではなかった。声掛けなどが少なくピンチを招く場面もあったので、後ろから(ディフェンダーとして)声掛けできるよう改善して九州大会に臨みたい。まずは1回戦突破が目標です」と話しました。



\\ 自慢の牛・山羊が勢ぞろい //

第61回糸満市畜産共進会

9月1日(木)、南部家畜市場で「第61回糸満市畜産共進会」が開催されました。同共進会は、家畜の改良増殖と畜産振興を目的に開催されており、今回の共進会では、肉用牛(肉牛)19頭、山羊12頭が出品され比較審査が行われました。肉用牛の部(若雌第2類)で優等第1席となった上原洋子さんは「牛の飼育を始めて3年目で、今年は共進会に出品することが目標でした。審査の基準や評価などは出品しないとわからないので、どのような順位になってもという覚悟でしたが、1席に選ばれるとは思いませんでした。自分のどのような飼育方法が評価された点につながったのかもまだ理解できていない部分もあるけど、試行錯誤しながら牛の飼育をしていきたい」と話しました。



\\ 5団体に表彰 //

高齢者福祉功労者表彰贈呈式

9月14日(水)、令和4年度糸満市高齢者福祉功労者表彰贈呈式が行われ、西崎2丁目自治会、喜屋武自治会、町端区自治会、西川町話花咲クラブ、兼城ハイツ老人クラブの5団体に表彰を行いました。当銘市長は「これからも地域を支える担い手として、これまでのさまざまな分野で培ってきた豊富な経験と知識を生かしながら、より活発に活動を推進してほしい」とあいさつしました。



\\ 子ども未来応援基金へ100万円 //

沖縄プラスチック産業から寄付

8月25日(木)、株式会社沖縄プラスチック産業の玉城裕一代表取締役が糸満市役所を訪れ、糸満市子ども未来応援基金に100万円の寄付をしました。玉城代表取締役は「今年8月に創立50周年を迎えるにあたって市へ何か還元できることはないかと考えました。その中で、生まれた環境で子どもの未来が左右されるということはあってはならないという趣旨に共感し、子ども未来応援基金へ寄付することになりました。寄付金を有意義に使ってほしいです」と話しました。



\\ 糸満中の東恩納さん //

英語弁論大会、特別賞などを受賞

高知県で開催された第7回ジョン万次郎英語弁論大会(中学生の部)で高知県知事賞および特別賞を受賞した東恩納沙奈さんが市役所を訪れ、受賞の喜びなどを報告しました。東恩納さんは「県外の派遣は初めてで大会前はドキドキしていたけど、地元の中学生とお喋りをして気持ちを落ち着かせました。2つの賞を受賞したときは言葉にならないくらい驚きました」と話しました。



\\ 施設整備に活用 //

興洋エンジニアリングから寄付

9月2日(金)、企業版ふるさと納税として、株式会社興洋エンジニアリングの安里拓代表取締役から10万円の寄付をいただきました。安里代表取締役は「弊社は、那覇に本社がありますが糸満営業所もあり、糸満市に協力できたらと思い、微力ながら寄付することを決めました。寄付金は糸満市民が利用する施設のために活用していただきたいです」と話しました。



\\ 人材育成事業に活用 //

まさひろ酒造株式会社から寄付

まさひろ酒造株式会社の仲嶺豊代表取締役社長が8月30日(火)に市役所を訪れ、人材育成事業へ20万円の寄付をしました。仲嶺代表取締役社長は「泡盛事業で地域貢献していきたいという思いがある。ヤングケアラーなどの様々な社会問題はありますが、今回は次世代を担う若い世代が等しく成長できるよう人材育成への寄付を行うことになりました。今後も継続していきますのでよろしくお願いします」と話しました。

